



平成17年 広報

# にかほ

編集・発行 / 秋田県仁賀保町役場

2/1

No. 1395  
毎月1日・15日発行



## 新たな一歩

今月の主な内容

特集 申告納税相談 .....	2~3
話題 仁賀保町成人式 .....	4~5
まちの話題 / 消防出初式ほか .....	8~9
安倍真人さんの笑顔に会いたい .....	10
新春クロス当選者発表 .....	11
スポーツ講演会のお知らせ .....	12

成人の日の1月10日、勤労青少年ホームで開かれた成人式には、華やかな衣装に着飾った112人の若者が参加しました。

小雪舞う会場までの道のりを、慎重な足取りで集まってきた女性たちは、振袖姿の色彩を競うかのように記念写真に収まっていた。

地域や世界への貢献を誓って

145人が成人



平成17年仁賀保町

# 成人式

成人の日の一月十日、仁賀保町成人式が勤労青少年ホームで行われました。会場には華やかな着物や羽織袴の新成人が集まり、友人との久しぶりの再会を喜びながら、お互いの成人を祝福していました。

今年成人を迎えたのは町内の百四十五人（男性八十一人／女性六十四人）で、そのうち百十二人がこの日の式典に参加しました。

開式の前に「はばたけ！新成人」と題されたビデオ映像が放映され、二十年間の国内外のニュースや昨年の町の出来事とともに、新成人たちの懐かしい小中学生時代の写真が映し出されると、会場からは次々と歓声が挙がりました。



昔の映像が懐かしい（恥ずかしい？）

式典では、出席した新成人一人ひとりの名前が読み上げられ紹介された後、巴町長が「成人することとは、権利を与えられるとともに義務を負うことでもあります。今後、社会はみなさんを大人として厳格な目で見ることになるでしょうが、それは同時に、みなさんの新しい感覚と情熱に期待しているということですよ」と式辞を述べました。

一人ひとりが紹介されました



一人ひとりが紹介されました

## はたちの声



齋藤香麻里さん  
（秋田市・伊勢居地出身）

「親や周囲に迷惑をかけないようにしつつ自立しなくては。いい大人になりたいです。今日は式典後のパーティーがとても楽しみ」



本間まさのり正訓さん  
（中野）

「友人との再会を楽しみにしてきました。仕事をしっかりとがんばりたいですね。地域が平和で、変わらずに穏やかであってほしい」



榮喜ゆうこ祐子さん  
（本荘市・上坂出身）

「やっと二十歳になれた、という感じ。親には感謝しています。仕事もそうだけど、色んなやりたいことを見つけてがんばりたい」



「新聞を毎日読む**9.3%**」

## 新成人政治意識調査

仁賀保町明るい選挙推進協議会では、毎年、成人式会場でアンケート調査を実施しています。今回の調査結果からその一部をご紹介します。

Qあなたは新聞を読みますか？

毎日読む ..... 9.3%  
時々読む ..... 67.4%  
読まない ..... 23.3%

Q新聞のどこを重点的に読みますか？

社会面 ..... 20.9%  
政治・経済面 ..... 8.1%  
芸能・スポーツ ..... 57.0%  
その他 ..... 14.0%

Q県政や町政に関心がありますか？

大いにある ..... 4.7%  
少々ある ..... 36.0%  
ほとんどない ..... 58.1%  
その他 ..... 1.2%

Q「不在者投票」を知っていますか？

知っている ..... 47.7%  
よくわからないが聞いたことはある ..... 30.2%  
知らない ..... 22.1%

Qはじめての選挙へ行きますか？

必ず行く ..... 38.4%  
行かない ..... 18.6%  
分からない ..... 43.0%

回答者：86人 回収率：76.8%

「二十年間を振り返り、家族や地域のみなさんへの感謝の気持ちで胸がいつぱいです。これからは、人格を鍛え聡明になり、物事の本質を見極める目を磨くため、挑戦と努力を忘れません」と力強く誓いました。



新成人を代表して壇上に立ったのは佐々木雄太さん（埼玉県・畑出身）。



▶「にかほ太鼓」が門出を祝福

◀年々、羽織袴の男性が増えているようです。



◀今回の実行委員の皆さん。式典の受付のほか、「二十歳パーティー」の企画運営を担当しました。

「友人たちが変わっていきなくてうれしいです。まだ学生ですが、大人として自立したいですね。これからは僕らが活気ある町にしたいと、って感じですか」



なおよき 齋藤 尚幸さん  
(横根)

「色々なことに責任が増しますね。成人式の楽しみは「人間観察」です(笑)。両親には、今まで育ててくれてありがとうと言いたい」



ゆうこ 渋谷 裕子さん  
(鶴岡市・平沢出身)

「大学生活は楽しいです。ちゃんと卒業しないと。地域の将来ですか……早く高速道路が通るといいですね」



のりひろ 阿部 憲博さん  
(埼玉県・両前寺出身)



## 盛り上げよう!盛り上がる! 国体開催まで970日 むらすぎ荘と役場にカウントダウンボードを設置



むらすぎ荘玄関前



役場玄関前

本大会開催まで2月1日現在であと970日となりました。先月号での予告のとおり、むらすぎ荘玄関前と役場庁舎玄関前にカウントダウンボードを設置しました。

国体開催までは、まだまだ時間があるようにも感じられますが、本番を前に今夏の東北総合体育大

会(ミニ国体)、来年10月の全国社会人サッカー大会と大きな大会も控えています。

日一日と近づいてくる国体に向け、より一層皆さんで気運を盛り上げていきたいと思えます。

ちなみに、本年開催されるミニ国体までは、あと192日です。

## 「スギッチぬり絵展」開催中 仁賀保駅ギャラリー

昨年の町民文化祭で、皆さんに描いていただいた大会マスコット『スギッチ』のぬり絵を仁賀保駅待合室に展示しています。今後、展示換えをしながら300枚以上の作品を数回に分けてご紹介します。

昭和36年の懐かしい秋田国体の写真も展示しますので、ぜひご覧ください。展示期間は3月中旬頃までの予定です。



国体に関することは...  
社会教育課国体推進係  
(町公民館内) ☎373121

新しい年を迎え一か月が過ぎた。まだまだ寒い季節であるが、お元氣でお過ごしでしょうか。今年、仁賀保町が誕生してから五十周年という記念すべき年であるが、まさに半世紀である。この間「農工一体」の理念のもと変化に満ちた環境の中で、幾多の試練を克服しながら大きく進展してきた。

五十周年を記念して「仁賀保町史普及版」を発刊するため編集作業を進めているが、遠い昔から現在までのわが郷土の歩みが、長い歴史の中でどのような意味をもっていたかを、もう一度みんな考えてみたいと思っている。

また、仁賀保町議会も「仁賀保町議会五十周年誌」の刊行の為に編集作業に取り組んでいる。数多くの議案が審議され、様々な活動を展開してきた議会の記念誌は、すなわち仁賀保町の歴史でもある。さて、町民のみならず大変ご心配をおかけしている町村合併も

こんにちは  
お元氣ですか

町長 巴 徳雄

昨年「合併協議会」を再開してからお陰様で順調に協議が進み、新年早々、合併期日を今年の十月一日とすることで確認された。これから新市誕生に向けて、いろいろな手続きや事務処理に積極的に取り組み、みなさんのご期待に応えたいと思っている。

仁賀保町誕生五十周年という記念すべき年であると同時に、新しい「にかほ市」のスタートという歴史的な節目の年である今年、大変忙しい年となるが、しっかりと将来を見据え、より一層の創意工夫をもって、夢と希望のもてる魅力あるまちづくりのためにみんなで努力しなければならぬと思っている。

お元氣で



人気のウィンター

スポーツ、スノーボード。「にかほ雪まつり」では裏方としてイベントを支えてくれたのがボイダーの安倍さんです。

中山が初ステージ

スノーボードは見てのとおりボード（板）に横乗りします。それによってスキーとは

## あの人の 笑顔 に会いたい



「スキー場へ行こう」  
安倍真子さん  
(琴浦)

違うさまざまな運動ができるところが特徴です。

ボードの魅力に取りつかれたのは十六年前。未経験だった私が友人に連れて来られたのが巾山スキー場。歩いて登ったゲレンデ、新雪に滑り

出したその瞬間の心地よい浮遊感!! その快感に

病みつきになってしまいました。

その後、スキークラブの須藤美智雄さんの勧めでインストラクターの資格取得を目指

すことを決意、現在私は日本スノーボード協会公認のB級インストラクターの資格を持っています。この資格、本荘由利で持っているのは私一人だけ。県内にも数えるほどしかいないんです。

秋田県はウィンタースポー

ツには絶好の環境が整っているのだから、その環境を活かして全体のレベルアップを図るべきだと思います。

家族みんながボード好き

うれしいことに、妻も二人の子どももスノーボードが大好き。シーズン券を買って、暇があったらスノーボード、というのがわが家の冬の生活

ですが、娘が中学生

になってからは部活の都合で全員そろって出かける回数が減ってしまっただけは残念です。

子どももって上達がすごく早いです。やっぱり素直さが上達の秘訣なのでしょうが、我流もいいのですが、それでは上達しにくいようです。

これからスノーボードを始める人は、指導者にしっかりと基礎を教えることが大切です。若者のスポーツとかわれがちなスノーボードも、基礎さえ身につければ中高年の人も安全に滑りを楽しむことができます。

大好きなスキー場

私はスキー場という場所が大好きで、時間があればスキー場に行ってゲレンデに立たないと落ち着かないんです。

巾山スキー場は傾斜がきつくて初心者にはちよつとむずかしいかも知れませんが、バツジテスト（資格検定）の練習には適しています。私も巾山のゲレンデから、目標としているA級インストラクターの資格取得めざしてがんばります!

### 見えない力にびっくり!



今年もスタートしたフェライト子ども科学館の実験教室。

1月15日に開催した「マジックボックスをつくらう」には17人が参加して、磁石を使った魔法の箱作りに挑戦。その一人、平沢小3年の柴田大志くん(室沢)は初参加でした。

「(箱と磁石を結ぶ)糸の長さを調整するのが難しかった。磁石の周りには目に見えないけどすごい力があることが分かってびっくりしました。これからも実験教室に参加したいです。」

### 今年もイベントを陰で支えます



1月6日、交通指導隊と防犯指導隊の「初出式」が行なわれ、今年も町民の安心・安全のため職務を遂行することを誓い合いました。斎藤文孝さん(平沢)は昨年交通指導隊に任命された新人隊員です。

「今年も町内で開催されるイベントの交通整理に出動し、安全のためがんばります。みなさまのご協力をお願いします。」

## Voices ちょっと 立ち話



# 新春クロス お年玉プレゼント

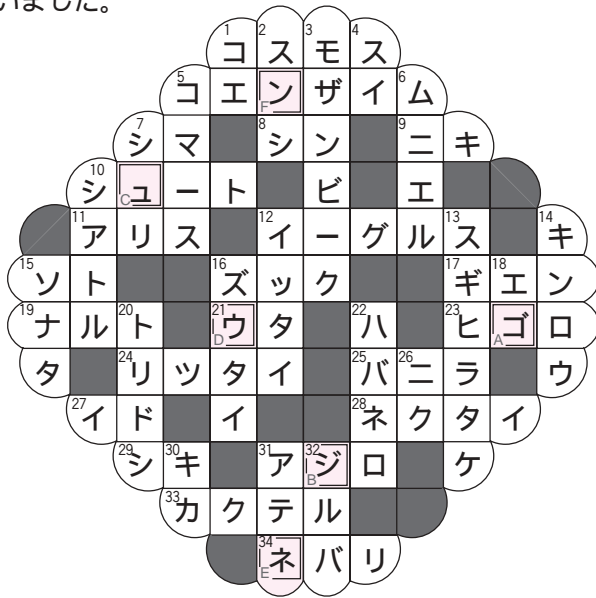
## 当選者発表

新年号に掲載の「新春クロス」に、町内外から多数ご応募いただきました。正解と当選者を発表します。

**問題** 仁賀保町は昭和30年に誕生し、今年で...

**正解は** ゴジュウネン（50年）

ご応募いただいた94通すべて正解で、抽選の結果右記のみなさまが当選されました。ご応募ありがとうございました。



## 当選者

(順不同・敬称略)

図書カード(3,000円相当)

大日向 譲(鈴) 石橋フサノ(芹田)  
佐々木佐賀江(札幌市) 青木 鈴子(室沢)  
佐藤美寿希(平沢)

フェライト子ども科学館グッズ

矢作 郁(室沢) 若林 翔(鈴)  
阿部 良子(琴浦) 相庭 正(樋ノ口)  
佐藤 綾子(鈴) 奥山 久江(両前寺)  
石塚 則子(東京都) 斎藤 雄(千葉県)  
喜原 伸宏(平沢) 阿部 慎吾(両前寺)

「広報にかほ」ペンセット

渡辺 和俊(横浜市) 菊地 敏行(室沢)  
佐々木花奈(畑) 阿部 幸子(室沢)  
竹田 峰行(さいたま市) 遠藤由宇子(芹田)  
佐藤奈津子(琴浦) 鈴木 幸子(横根)  
六平チヤ子(室沢) 相庭 善輝(神奈川県)  
佐藤 寿子(院内) 阿部ナカ子(千葉県)  
阿部 豊(象潟町) 若林 艶子(琴浦)  
佐々木満知子(鈴)

ひ  
じゅんじゅん!

「新春クロス」応募者から寄せられた、町や広報に対するひとことをご紹介します。



！居酒屋、スーパ、コンビニの紹介等の記事も載せてほしいです。

(町内・20代男性)

！八タハタ「ブリコ」のじゅうたん、子供の頃取ってきて甘辛く煮てかじったのを思い出し感激でした。なつかしいです。

(県外・60代女性)

！横須賀出身ですが仁賀保に来て初めてブリコを知ること、そして大ファンになりました。

(町内・30代男性)

！会社も町と同じで50年経ちました。何か不思議な気持ちです。

(県外・60代男性)

！写真をオールカラーにしてはどうでしょうか？

(町内・50代男性)

！「雨降って地固まる」、今後にかほ市に大きな期待をしています。

(町内・60代男性)

！もう少しいろいろ写真や災害の注意をのせてほしい！

(町内・小学生女子)

！経費削減のためにも内容を濃くして月1回の配布では？

(町内・50代女性)

！今度はきりたんぼクロスなどあったらおもしろそう。

(県外・60代女性)

！「村」で生まれ翌年「町」になり、今年「市」に生まれ変わろうとしています。新市の広報に期待をしております。

(町内・50代女性)

！新年号の子供たちの写真はアングルが変わっていて、また酉年にちなんだ新年号にふさわしいもので、何度もうくん、いいなあ」と言ってみなおしました。

(町内・30代女性)

！仁賀保町誕生50年おめでとうございます。新しく「にかほ市」となり、なほ一層の発展を祈ります。

(県外・60代女性)